



474号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



第4回 中央港湾団交

29日(日)24Hスト延期を表明と同時に交渉の促進を図るため、 4月5日(日)始業時～6日(月)始業時までのストライキを通告する。

15春闘の実力行使の延期に関する通告 (抜粋)

3月25日(水)に開催した第4回中央港湾団交の経過を踏まえ、公文85号(3月20日付)にて通告した3月29日のストライキ行動を延期し、下記のストライキ行動を実施することを通告します。

記

1. 実力行使の内容について

実施日時 2015年4月5日(日)始業時～4月6日(月)始業時まで
行動対象 全港・全職種
行動内容 就労拒否並びに荷役阻止、及び抜港船などスト破り行為への抗議行動

以上

3月25日(水)開催した第4回中央港湾団交では、日港協側が回答の検討に時間を要するための休憩を挟むなど、断続的な交渉となりました。しかし、日港協側は、具体的な前進した回答を用意できないまま時間が経過し、組合側に対し、前進ある回答を準備するために時間的な猶予を求めると同時に、3月29日(日)の24Hストの延期と、次回交渉4月2日(木)の中央港湾団交を求めました。

組合は日港協の申し入れに対し、休憩を挟み議論を行い、次のとおり取りまとめました。
①年金制度問題について、安定協会をはじめ関係者への説得と共に、事業者内部への了解を得るための時間的な猶予が必要であることは客観的な事実であろう。
②再開される交渉において、産別制度賃金、年金制度の拡充の主要な課題について明確な回答を準備する事強く申し入れる。その見通しの中で延期を判断する。
③この判断の重さを日港協に徹底し、この信義をたがえたなら、断固としてストライキを打ち抜く決意を固め合うこと。以上を確認し、再開した団交で組合は次のおとり主張をした上でストライキの延期を判断、日港協もこれを受け止めるとした。

①ストライキの延期を判断したが、日港協はこの重さを理解し、次回団交では組合側の主張に沿った具体的な回答を提示すること。
②次回団交で、見るべき前進がない場合は、今以上の抗議行動を準備する用意がある。

第5回 検数労連15春闘交渉 両協会ともに有額回答(定昇)を提示。 組合は産別と同様にストライキの延期(4月5日)を通告。

3月26日(木)第5回検数労連15春闘交渉で、両協会より有額回答(全日検職員A・B1200円・定昇)(日検協会(職員55才以下2500円・56才以上2000円・定昇)が提示されました。

【両協会主張】

港湾産別での相場が見えない中で、現時点では定昇部分の回答しか提示することは出来ない状況であることを理解

【組合主張】

明日以降、各企業内での機関会議等を経て、更なる賃上げに向けた回答を提示するよう努力したいと考えているため、検数労連が29日(日)に予定している休務権の行使については回避していただくようお願いする。



**次回交渉:4月2日(木)13:30～中央港湾団交
4月3日(金)13:30～検数労連15春闘交渉**